

相談支援の基本姿勢

～相談支援の理念と役割～

1、相談支援の基本理念

- 「福祉」とは？
- 「相談」とは？
- 「本人」とは？

- 相談支援の基本理念

人としての尊厳を認めること
尊厳とは？

自己決定を尊重すること(どんな場合でも)
自己決定を支援

当事者との信頼関係
信用と信頼

人権擁護と至誠の基に

※尊厳とは何か？

- 人としての“尊厳”に寄り添う、敬意をはらう
- 自己決定 意思
- 生きるということ

本人の本心と自己決定

- 自己決定支援

平田厚弁護士の話(2000年)

「本人の自己決定とは、第三者が客観的に見出す“最善の決定”ではあり得ず、いかに客観的には劣っていようとも本人が主観的に表明する“本人の決定”でなければならない。

“本人の決定”が本人に被害を与えてしまう内容である場合に必要となるのは、本人との信頼関係を前提とする本人の決定が十分なものかどうかを本人と共に検証する技術であって、本人への一方的な指導ではない。

- 意思決定支援へ

気持ち・選ぶ・判断

- 重心 目や表情、手足の動き 家族の助言
- 介護の支援度が高い、言語が無い
 - オウム返し、従順
- 自閉的傾向強い
- 拒否、からかう、試す
 - 表面的な意思と本心
- 非社会的、人を信用しない
 - 疎外感 蔑まれ 選ぶという経験なし

「意思疎通」 「意思形成」

- 日常生活の中での意思決定

- 非日常での意思決定

相談支援の現場 支給決定 契約

サービス、事業所、住まいの選択

支援者の選択

※同意

エンパワメントとアドボカシー

- エンパワメント
 - 本人中心支援
 - 主体性
 - ストレングス
 - ※陥りがちな関係

- アドボカシー

弁護 擁護 代弁 支持

アドボケート

福祉以外の法制度・知識

多様なアセスメント 本人同意

チームアプローチ

家族や行政等との利害の衝突

相談支援の基本姿勢

- 役割 利用者が地域で自立した生活を送るために、抱えている課題を的確に捉え、解決するための目標を設定し、目標達成に向けた道筋を描き、その実現のために支援していくこと

- 基本姿勢

利用者の自立支援への姿勢

信頼関係を築く姿勢

利用者の不安を和らげる姿勢

事例を個別化して捉える姿勢

感情をコントロールする姿勢

利用者を受容する姿勢

利用者の自己決定を原則とする姿勢

守秘義務を尊重する姿勢

利用者の自立支援を支える姿勢

こまめにアセスメントを行う姿勢

地域の資源把握と開発する姿勢

チームアプローチの姿勢 等々

- 倫理

利用者の主体性の尊重

利用者の権利・尊厳の尊重

個人情報保護

公平性

中立性

- 求められる資質

信頼関係を形成する力

相談支援に係る幅広い知識と技術の習得
福祉分野や他の分野についての幅広い知識
(制度やサービス)

基本的なコミュニケーション技術

基本的な面接技術

ニーズを探し出すアセスメント力

チームアプローチやネットワークの形成力

社会資源を活用・調整・開発する力

交渉力・調整力

※信頼を得る

- 「信頼」とは何か？

存在感

魅力

心の持ち様